

# こおりやま 市議会だより



がくとくんとおんぶちゃん

第177号 - 平成28年6月定例会 -



市民の安全のため日々訓練した成果を披露  
(第46回郡山市消防団・福島県消防協会郡山支部消防操法大会)



郡山市

発行日：平成28(2016)年8月1日  
発行：郡山市議会  
編集：こおりやま市議会だより編集委員会  
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号  
TEL024-924-2521 FAX024-938-2810  
メールアドレス  
soumugiji@city.koriyama.fukushima.jp

## 主な掲載内容

6月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	2頁
議案等の議決結果	3頁
6月定例会市政一般質問	4頁～13頁
行政調査レポート、特別委員会の活動状況	14頁
特別委員会講演会公開のお知らせ	15頁
平成27年度後期分政務活動費会派別収支報告	16頁
市議会ウェブページ	17頁
9月定例会開催予定	18頁

# 平成28年度6月定例会

## 平成28年度一般会計補正予算(第2号)の修正を含む議案32件を可決

### 定例会のあらまし

6月定例会を、6月16日から30日までの15日間にわたり開催しました。

初日には、会期の決定、諸般の報告に続き、継続審査となっていた請願1件を賛成多数で採択としたほか、「安全・安心なまちづくり特別委員会」及び「公有資産活用検討特別委員会」からの中間報告を受けた後、市長が提出議案の提案理由について述べました。

21日から24日までは、18人の議員が市政一般質問を行いました。

27日と28日は、4つの常任委員会、付託された議案23件と請願5件を慎重に審査し、総務財政常任委員会では、フットボールセンター整備に要する工事請負費を減額する修正案が提出され、同案を可決すべきと決し、本会議に送付しました。

最終日となる30日の本会議

では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分かれた議案等について、4人の議員からそれぞれ賛成・反対の討論がありました。

その後、採決の結果、平成28年度一般会計補正予算(第2号)を賛成多数で修正可決したほか、平成28年度郡山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)など議案4件を賛成多数で、「郡山市空家等対策審議会条例」など議案18件を全会一致で可決しました。

また、請願3件を全会一致で採択、請願1件を賛成多数で一部採択、請願1件を賛成少数で不採択としました。

次に、追加提出された教育委員会委員の任命等の人事案件6件を全会一致で同意、さらに、「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書などの議案3件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

### 常任委員会の審査状況

審査内容の中から主なものをお知らせします。

#### 総務財政

**問** フットボールセンター整備の事業費が膨らんだ理由は。

**答** 地元住民や公益財団法人日本サッカー協会からの要望などを踏まえ、スポーツコンベンション施設として、2千人収容の観客席を整備するほか、防風・防雪ネットの整備及び夜間照明のLED化、資材の高騰などによるものであります。

**問** 郡山市復興産業集積区域内において固定資産税が課税免除となる「特定の業種」とは。

**答** 輸送用機械、電子機械、情報通信、医療関連、再生可能エネルギーなどの製造業のほか、農業関連産業、水産関連産業などが該当する。

#### 建設水道

**問** 今年11月から、熱海町、湖南町、富田町で実施予定のデマンド交通等実証実験における地域住民との協働・連携の取組みは。

**答** デマンド交通等については、多くの方に利用いただくことが重要であり、導入に際してのエリア及び路線の設定、周知等については、地域主導のもと協働・連携を図っていく。

**問** 水道事業等に対する東京電力からの福島第一原発事故の賠償金の支払い状況は。

**答** 水道事業及び工業用水道事業を合わせて、平成23年度から平成26年度までの請求総額、約8億3千8百万円に対し、約7千6百万円が支払われている。

#### 環境経済

**問** 小・中学校の除去土壌等搬出について、本年度搬出予定の11校以外の学校の搬出はいつ頃になるのか。

**答** 昨年、小学校3校については、パイロット輸送で搬出済みであり、残りの小・中学校については、来年度以降、積込場、更には中間貯蔵施設の受入状況等を見ながら搬出

する予定である。

**問** 一般住宅等の除去土壌等搬出について、掘り起こし後、積込場へ搬出する際の詰め替え作業を行う近隣の公園等は決まっているのか。

**答** 今後、公園の規模、周辺の道路状況等を考慮した上で選定を行い、地元町内会、地域住民に対する周知を図っていく。

#### 文教福祉

**問** 中央図書館の改修工事に関し、ゆつたりと過ごせる空間への改修要望が多くあるが、対応は。

**答** 今回の改修については、耐震補強とともにユニバーサルデザインの観点から授乳室の新設、各階トイレの改修を行い、併せて、学習スペースの拡張、音楽コーナーの設置も計画している。

**問** 重度心身障害者医療費助成が自動償還払いになることにより、どのような負担軽減が見込まれるか。

**答** 受診者が、医療機関から証明をもらい市役所に届ける手続きが不要になることで、受診者本人、医療機関、市役所窓口それぞれの負担が軽減される。

## 議案等の議決結果

賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件名		議決結果	会派の賛否(創風会は、議長を除く。)								
			創風会	新政会	郡山市議会六公明党	社会民主党	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会		
			18人	7人	4人	3人	3人	1人	1人		
市長提出議案	補正予算	平成 28 年度郡山市一般会計 (第 2 号) 修正部分 ※ 1	修正可決	○	×	×	×	○	×	×	
		平成 28 年度郡山市一般会計 (第 2 号) 修正部分を除く原案	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	
		平成 28 年度郡山市国民健康保険特別会計 (第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	×	×	○	
		平成 28 年度郡山市下水道事業会計 (第 2 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	
	条例	制定 一部改正	郡山市空家等対策審議会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市議会議員及び郡山市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市職員の配偶者同行休業に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市税条例等	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び郡山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	※ 2	×	○	○
			郡山市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	×	×	×	○
			郡山市重度心身障害者医療費の助成に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	×	×	○
	工事請負契約	郡山市富久山クリーンセンター衛生処理センター整備事業(長寿命化事業) 基幹的設備改良工事(その2)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
			笹川大善寺線橋梁(上部工)整備工事	可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市立宮城小学校屋内運動場耐震補強外工事	可決	○	○	○	○	○	○	○
			郡山市立郡山第六中学校大規模改造内部改修工事	可決	○	○	○	○	○	○	○
	財産取得	(仮称)西田小学校建設事業用地	可決	○	○	○	○	○	○	○	
			小型動力ポンプ積載車	可決	○	○	○	○	○	○	○
			消防ポンプ自動車	可決	○	○	○	○	○	○	○
			防火衣、防火長靴	可決	○	○	○	○	○	○	○
	人事案件	郡山市教育委員会委員の任命、郡山市公平委員会委員の選任、郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任、郡山市財産区管理委員の選任(月形財産区・舟津財産区・館財産区)	同意	○	○	○	○	○	○	○	
	その他	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	
	請願	都市計画道路安積永盛駅前線の幅員(一部)を変更し整備することについて	採択	※ 3	×	×	○	○	○	○	
		郡山ソフトボール協会における主競技場に係る整備充実を求める請願について	採択	○	※ 4	○	○	○	○	○	
		郡山市の義務教育諸学校における保護者負担の軽減を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	×	○	
国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○		
看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○		
原発の運転停止と廃炉を求める請願 ※ 5		一部採択	※ 6	○	○	×	×	×	○		
委員会提出議案	「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		
	看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		
	東京電力福島第一原発・第二原発の廃炉を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○		

※ 1 議案(補正予算)の修正について

6月定例会においては、「平成 28 年度郡山市一般会計補正予算(第 2 号)」を修正可決しました。

修正の内容は、フットボールセンター整備に係る事業費として計上された予算(約 7 億 3 千万円)のうち、敷地造成、グラウンド整備、クラブハウス・観客席の整備に要する工事請負費(約 5 億 3 千万円)を減額するものです。

※ 2 賛成 2、反対 1 ※ 3 賛成 16、棄権 1、除斥 1 ※ 4 賛成 6、除斥 1

※ 5 原発の運転停止と廃炉を求める請願については、請願事項を「一部採択・一部不採択」とすることに対する賛否

※ 6 賛成 16、棄権 2

■なお、各議員の賛否は市議会ウェブページを御覧ください。

平成28年6月定例会

# 市政一般質問

18人の議員が市政について質問しました

それぞれのQRコードから質問者の録画中継が御覧いただけます。



質問議員順に、質問の通告時間が30分以上は3項目、30分未満は2項目を掲載しています。掲載の質問・答弁内容は要約していますので詳細は会議録または議会中継を御覧ください。



日本共産党山市議団  
おかだ てつお  
岡田 哲夫 議員  
通告時間:20分

## 臨時保育士の割合について

**問** 本市公立保育所では、臨時保育士の割合をどの程度が適当と考えているのか。

**答** 昨年8月の中核市及び県内各市における公立保育所の保育士数の調査では、回答が

あった中核市40市平均で臨時保育士の割合が34%、県内各市平均で36%となっている一方、正職員の割合は、本市が62%であるのに対し、中核市平均で50%、県内平均が43%となっている。  
年度途中の児童増や障がい児保育、延長保育など、多様な保育ニーズに適切に対応するため、臨時保育士を適宜配置しており、今後とも保育所の実情に応じて最適な運営となるよう努めていく。



## 学校司書給与の公費負担について

**問** 学校司書の給与をすべて公費で賄うべきと考えるが見解は。

**答** 本市では、学校司書をPTAが雇用し、その経費の2分の1を市が補助する学校司書支援事業により、学校司書の配置促進を支援している。

この制度では、PTAが学校規模や地域性等を踏まえた人材を主体的に確保でき、学校司書本人においても、雇用者との間で勤務時間や業務内容等について協議し、柔軟に対応できることなどから、各

学校の実状に応じた継続的な雇用が確保されていると認識しており、今後も学校司書の給与をすべて公費で賄うことは考えていない。

- 掲載以外の質問項目**
- 原発事故関連について
  - 介護保険について



## 議会の豆知識①

### ● 議案とは

議案とは、議会の議決が必要な案件のことをいいます。議案には、市長が提出するものと、議員または委員会が提出するものがあります。

議案を議会に提出する権利は、原則として市長または議員若しくは委員会（常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会）にあります。予算案に関しては、市長に専属されます。

※関連項目：定例会のあらまし（2頁）、議案等の議決結果（3頁）



新政会  
あいた かずお 議員  
會田 一男  
通告時間:30分

農家の実態把握について

「農業振興地域整備計画」の見直しには、農家の生の声を聴くことが重要であると考え、どのような手段で把握し、計画に反映させていくのか。

農家委員会委員の農家基本台帳に記載の9千69名の市内全農家に対し、本年7月にアンケートを実施し、526名の農家組合長の協力により、回収率の向上に努める。

また、本年8月に行政センターごとに市内13か所地区説明会を実施し、直接意見を聴く機会を設けるとともに、個別の問い合わせにも対応し、それらの意見を有識者検討会で協議することにより、新計画に反映させていく。

県道三春日和田線について  
小和滝から日和田駅まで

の住宅密集地の特に狭い部分について、県と協議し、現況幅員でできる何らかの安全対策をとることについて見解は、

県道三春日和田線の道路管理者である県は、整備の実現性が高く、事業効果が早期に見込める区間から優先的に道路改良を進めていることから、現段階で具体的な道路拡幅計画はないとしている。

本市としては、本路線の当該区間について、安全対策が必要と認識していることから、県と意見交換等を行う「まちづくり意見交換会」の場などで、道路拡幅を伴う整備と

もに、待避所等の設置や交通規制などの安全対策も含め、県に対し、強く要望していく。

家庭における保育の現状と市の認識について

本市の家庭における保育の現状とその意義について、

どのよう認識しているのか。

保育所・幼稚園等を利用せず、家庭で保育されていると思われる児童は、昨年度末で5千928名、未就学児童全体の約37%となっている。

乳幼児期は、遊びを中心とした生活の中で、特に身体的感覚を伴う多様な経験により、豊かな感性、好奇心や探究心、

思考力が養われ、それらが、その後の生活や学びの基礎となる時期である。

また、保護者にとっても、親として成長していく大きな喜びや生きがいをもたらす時期であり、この時期に家庭において保育が行われることは、大きな意義があると考えている。

掲載以外の質問項目

- 災害対策における通信連絡網について
- (仮称)西田小学校における通学路の安全対策について



創風会  
もりあき ひでゆき 議員  
森合 秀行  
通告時間:30分

平成28年度の長期避難者等支援事業の委託先について

本年度の長期避難者等支援事業の委託先は、どのように考えているのか。

また、一般社団法人FLEIPとの契約更新はあるのか。現在、県主体により実施

している戸別訪問や全国20か所への県外避難者の生活再建拠点の設置など、避難者の相談支援体制が変化してきていることから、それらを踏まえた本市の望ましい支援のあり方について、委託先を含め、現在検討している。

また、一般社団法人FLEIPとの契約更新は、現在、福島県や新潟県が補助金の二重請求等の疑いにより調査を行っていることから、その推移を見極め、適正に対応すべきと考えるが、一般論としては、これまでの経過を踏まえると、新たな契約締結については、

極めて慎重に対応しなければならぬと考えている。

日本財団「子どもの貧困対策プロジェクト」への本市の参加について

当該プロジェクトへの参加は、本市における子どもの貧困対策に有益と考えるが見解は。

本市も、市長自ら財団にコンタクトを取るなど、参加に向けた検討に着手したところである。

今後は、当該プロジェクトの第一号となる拠点が埼玉県戸田市に設置され、学習支援などに実績があるNPO法人

成人のつどいについて

が主体となって運営予定であるため、このモデルケースにおける進捗よく状況等を見極めながら、NPO法人など、関係支援団体と意見交換を重ねていく。

成人のつどいの運営を成人の門出にふさわしいはじめのあるものに改善すべきと考えるが見解は。

成人式の企画・運営は、

新成人や公募市民による企画委員会を設置し、意見を聞きながら進めており、18歳以上に選挙権が認められた意義な

ども話し合うことで、新成人としての自覚と決意を持つよう促していく。

運営については、式典時の厳粛な雰囲気演出できるよう、プログラムの見直し、会場レイアウトの再考など、前回の反省点を踏まえ、企画委員と検討を重ね、実施に当たっては、会場内での座席誘導や警備体制の充実を図り、参加者の記憶に残り、意義あるものとなるよう努めていく。

掲載以外の質問項目

- ユニバーサルデザイン教育の推進について
- 観光における諸問題について



無所属の会

よしのこ 好彦 議員

通告時間:30分

中心市街地における悪質な客引き行為の取締りについて

問 「郡山市客引き勧誘行為等の防止に関する条例」では、郡山駅周辺での客引き等を禁止しているが、黒服を着た通称「カラス」と呼ばれる客引きが、夜な夜な出没している。

警察とより連携し、その場限りの効果ではなく、女性でも安全・安心に歩ける駅前近辺を断固実現すべきと考えるが見解は。

また、夜の「カラス」一掃の具体的対策は。

答 安積開拓等をテーマとしたストーリーの日本遺産認定など、本市イメージ向上により、来訪者増加も見込まれることから、玄関口の郡山駅前の客引き対策が急務で、強い決意で取り組む必要がある。

客引き等の取締まり強化に向けては、「客引き勧誘行為等の防止対策会議」を開催し、

警察などによる連携、協働体制を構築するとともに、関係者100名によるパトロールを実施した。

この間、警察署の取締まり強化では逮捕者が出ており、引き続き警察署の取締まり強化と併せ、関係団体等との連携、協働のもと、集中的なパトロール実施など、客引き等の一掃に努める。

自転車安全利用条例の制定について

問 広く小・中学生等に自転車安全利用の啓発を進め、自転車保険の加入を促進しながら、事故防止を図るため、本

市独自に自転車安全利用条例を定めるべきでは。

答 現在、セーフコミュニティ交通安全対策委員会、高校生・自転車事故対策を重点課題の一つとして検討しており、その検討内容や先進地の条例制定効果を調査するなど、今後判断していく。

障害福祉サービス受給者証が発行されない理由と今後の対処方法について

問 「障害福祉サービス受給者証」の支給決定期間が切れ、8か月も発行されていない市民がいるが、その理由と、今後の対処方法、これ以後の具

体的な防止策は。

答 障害福祉サービス受給者証更新に必要な医師意見書作成を依頼した医療機関に対し、再三提出を依頼したが、医学的知見からの判断に時間を要し、提出が遅れているとのことであった。

今回、当該医療機関から近々作成できるとの確認がとれたので、提出があり次第、更新手続きを進めていく。

掲載以外の質問項目

- ため池除染・側溝除染について
- 共通投票所について
- ラグビーの環境整備について



創風会

おおき すすむ 議員

通告時間:30分

郡山市内大学への期日前投票所の設置について

問 日本大学・奥羽大学・郡山女子大学のキャンパスに期日前投票所を設置するともに、大学と連携した啓発活動を推進すべきと考えるが見解は。

答 本年3月に大学側の意向調査を行い、投票所の設置条件がクリアできるか否か相談し、検討いただいているが、今後は、設置条件等に合わせ、費用の算出をするともに、その効果について先行事例を参考に検討していく。

また、現在、大学に啓発ポスターの掲示及び啓発グッズの配置依頼を行っているところであり、更に連携を図り、啓発活動を推進していく。

子どもの遊び場の活用方法について

問 大安場史跡公園、(仮称)八山田こども公園、大槻公園

に建設中の屋外の子どもの遊び場について、子どもの遊びを誘発、活性化する冒険遊びの要素を持つ施設として検討しているのか。

また、整備後の活用方法は、さらに、安全面への配慮等から、プレイリーダー※の配置が重要と考えるが見解は。

答 3施設とも子ども達が「自由に遊べる屋外施設」として整備するものであり、それぞれに異なった、子どもの遊びを誘発、活性化する特徴を持たせている。

大槻公園と(仮称)八山田こども公園に設置する体験学

習施設では、工作教室や自然体験教室等の開催を計画しており、今後も、子ども達の遊びに對し、より良いサポートができる活用方法について、プレイリーダーの配置等の手法も含め検討していく。

利用者の視点に立った中央図書館の運営の見直しについて

問 本年10月から予定の改修を契機とし、利用者、利用希望者の視点に立った運営の見直しについても検討すべきと考えるが見解は。

また、ユニバーサルデザインの視点からの取組みは。

答 これまでも、平成20年度から開館時間の拡大を行うなど、利便性の向上に努めてきたが、今後も、更なる改善に取り組むとともに、船山隆名誉館長の提案を踏まえた、音楽都市にふさわしい図書館を目指していく。

また、ユニバーサルデザインの視点からも、全ての利用者が、より一層利用しやすい図書館となるよう努める。

掲載以外の質問項目

- 教育支援について



虹とみどりの会

へびいし いくこ 蛇石 郁子 議員

通告時間:15分



線量が低い地域での子どもの保養支援について

子どもへの保養支援は、国や県が主導的に取り組むべきと考えるが見解は。

また、保養を常時受け入れる施設の確保や整備、保養制度の拡充、運営団体への支援



創風会

さとう てつや 佐藤 徹哉 議員

通告時間:30分



ネーミングライツ(施設命名権)の対象施設について

スポーツ施設以外の3施設「郡山市立中央公民館」「

(仮称)八山田こども公園」「郡山市民文化センター」がネーミングライツの対象となつた経緯は。

などを積極的に国に求めることについて見解は。

保養支援に関する案内などの情報を、小・中学校を通して保護者へ提供するとともに、市ウェブサイトの「子育てイベント情報」において、全国の保養情報を集約したサイトへのリンク先を表示し広く周知しているところであるが、子どもたちへの保養支援を国・県に求めることについては、市民からの要望や利用状況等を見極め、検討していく。

自主避難者支援について

県は、自主避難者への応急仮設住宅(借上げ住宅)供与を来年3月31日で終了することに伴い、戸別訪問を実施しているが、どのような点に気を付けて実施しているのか。

また、避難者の要望にどのように応えていくのか。

県外避難者への戸別訪問は、県が主体となり、本年度中に3回実施予定である。

本市からも職員派遣を行っており、6月17日まで157名の話聞くことができたが、個々の状況や思い、生活再建の課題を把握することに努め、その課題解決の支援策につ

また、他にも実施を検討している施設があるのか。

スポーツ施設以外の3施設を含む8つの対象施設は、施設の知名度、利用者数の実績、新設施設という話題性、企業アンケートにより、企業の関心が高い施設であることなどを総合的に勘案し、選定した。

また、本年度と来年度の実施結果等を踏まえ、今回対象としなかった指定管理者導入施設などについても積極的に検討していく。

て、関係機関とともに丁寧な検討し、第2回目の訪問へつなげていく。

今後も、県及び避難先自治体と連携を図りながら、避難者の意向を尊重した情報提供や相談対応に努めていく。

掲載以外の質問項目  
○男女共同参画社会の推進について



ごみ屋敷問題の今後の対応について

今後、問題が発生しないよう、市としてどのような対策を取っていくのか。

行政代執行を行った4か所のパトロールを実施し、本人(堆積者)に対し、「郡山市建築物等における物品の堆積による不良な状態の適正化に関する条例」に基づき、敷地の適正管理を引き続き指導している。

また、今後、住宅敷地内の堆積物で近隣に影響が出てくる事案がある場合は、速やかに指導していく。

熱海町駅前市有地整備事業における多目的交流施設の機能について

多目的交流施設の機能として設ける避難所は、どのような災害を想定しているのか。

また、避難所機能の内容は。熱海地区は、平成21年度以降、土砂災害警戒区域に指定された箇所が多数あることから、土砂災害による避難を想定している。

また、近年は、全国的に想定外の災害も発生しており、ゲリラ豪雨による浸水被害や地震災害等あらゆる災害が起り得ることを想定している。

議会の豆知識②

●特別委員会とは

特定の事項を調査するため、必要に応じて設置する委員会です。  
本市議会では、現在、安全・安心なまちづくり特別委員会、公有資産活用検討特別委員会を設置しているほか、決算審査時には、決算特別委員会を設置します。  
※関連項目:定例会のあらまし(2頁)、行政調査レポート(14頁)、特別委員会の活動状況(14頁)、特別委員会講演会公開のお知らせ(15頁)

避難所機能の内容は、現在設計中であるが、行政センターが入る当該施設は、「郡山市地域防災計画」において熱海地区防災本部に指定されるため、太陽光発電設備と蓄電設備を備え、停電時でも本部の情報収集や伝達用電源を確保するとともに、避難所となる大ホールには、非常用電源車の接続口を設けるなど、避難施設として必要な機能を設ける計画である。

掲載以外の質問項目  
○指定管理・業務委託について  
○教育支援について



新議会  
折笠 正 議員  
通告時間:30分

**農業用施設の今後の整備方針について**

**問** 農道や水路等、農業用施設整備は、持続的な農業振興や増加する荒廃農地の未然防止など、農業の体質強化に繋がり、より重点的に取り組むべきであるが、農業用施設整備

のあり方について、今後の方針をどう考えているのか。  
**答** 農道等の農業用施設は、地域農業の生産基盤であり、荒廃農地の未然防止などに資するため、今後も地域の実情や優先順位等を踏まえ、計画的に整備を進めていく。

さらに、多面的機能支払交付金事業や、中山間地域等直接支払交付金事業などの支援拡充を図り、地域と行政が一体となった総合的な農業用施設の整備を促進し、将来にわたる農地の適切な維持・保全に努める。

**特定空家対策について**

**問** そのまま放置すれば倒壊や崩壊などのおそれがあり、近隣への影響が懸念される特定空家等への対策をどのように進めていくのか。

**答** 本年3月に策定の「郡山市空家等対策計画」に、特定空家等に対する措置等への対処事項として、「空家等対策の推進に関する特別措置法第14条」及び「特定空家等に対する措置に関する適切な実施を図るために必要な指針」に基づき対応することを定めた。これらの手続きは、個人の

財産に関するもので、実施に当たり、透明性、公平性の確保が求められるため、専門的な知識を有する学識経験者の意見を聞くため、「郡山市空家等対策審議会条例」を本定例会に上程した。

今後は、空家等の所有者に適切な管理を促すとともに、特定空家等に対しては、審議会の意見を踏まえ適切に対応していく。

**笹川大善寺線の供用開始時期について**

**問** 笹川大善寺線の整備は、多額の事業費と事業期間を要するが、本年度の社会資本整備

備総合交付金の内示は、平成30年度の供用開始目標に影響を及ぼすのか。  
**答** 笹川大善寺線は、社会資本整備総合交付金の要望を行い、権利者の協力を得て事業を進めてきた。

全国的に補助金が厳しい中、本年度の本市の内示額は、要望額に対し約70%であり、同路線には、重点的に予算を配分し、平成30年度開通の目標を達成するよう、事業推進を図っていく。

**掲載以外の質問項目**

○ 学校通学路安全対策について



郡山市議会公明党  
田野 光夫 議員  
通告時間:30分

**観光地等におけるWiFi-Fi(公衆無線LAN)の整備について**

**問** 市内観光地等にはWiFi-Fiの整備を促進し、観光客が自由に情報収集でき、リアルタイムでSNSを発信できる環境整備をすべきでは。

**答** WiFi環境については、昨年度までに市の公共施設43か所に整備済みであり、本年度は観光施設等の10か所に整備を予定している。

また、郡山商工会議所会員で組織する「郡山高度情報システム研究会」においても現在、市内11か所でWiFi環境を提供している。

今後も、観光客等の利便性の向上と本市のイメージアップを図るため、計画的な整備を検討していく。

**高齢者健康長寿サポート事業実施後の反応と実績について**

**問** 事業開始から1年が経過

し、これまでにどのような意見や問い合わせがあったか。

**答** また、全体的な利用率とバス・タクシートの利用実績は、

**問** 券の利用方法についての問い合わせや、バス・タクシーへの利用拡大などによって利用しやすくなったとの意見があったが、一方で、助成額への不満の意見もあった。

**答** 昨年度の総利用枚数は37万2千941枚で、交付枚数に対する利用率は63%であり、そのうち、バス・タクシートの利用実績は、バスが1万8千451枚、タクシーが11万2千139枚で、合計13万590枚であり、総利用

枚数に対する割合は35%であった。

**放課後児童クラブ拡充の効果等について**

**問** 放課後児童クラブの入会基準の拡大により、以前と比べてのくらい拡充が図られたのか、また、それにより新たに発生した課題は。

**答** 入会対象を小学6年生まで

に拡大し、市直営児童クラブの開設基準を利用希望者20名以上から15名以上に引き下げ、児童クラブの新増設を行ったことにより、入会児童は本年5月1日現在、平成26年度との比較で、46名増加して

いる。

これにより、入会希望者が増え、一部のクラブで、既存の施設での受入れが困難となっていることや、入会児童の年齢幅の拡大により、クラブ内での児童の活動スケジュールが異なるなどの新たな課題が生じている。

**掲載以外の質問項目**

- セーフコミュニティについて
- 公民館の位置付けと事業について
- チーム学校について
- 6次化について



創風会  
こんない としお  
近内 利男 議員  
通告時間:30分

**自殺対策計画の策定について**

**問** 本市における自殺対策計画は、どのようなプロセスでいつ頃策定するのか。

**答** 本年4月1日改正の「自殺対策基本法」により、市町村自殺対策計画の策定が義務



郡山市議会公明党  
たがわ まさはる  
田川 正治 議員  
通告時間:30分

**定期接種制度の内容と本市の取組みについて**

**問** B型肝炎ワクチンの定期予防接種の内容、予防接種法上の分類、接種対象者は。

**答** B型肝炎ワクチンは、本年2月に開催された「厚生科

付けられたことから、自殺対策事業強化のため、セーフコミュニティ認証と進行管理を担う自殺予防対策委員会と連携を図り、実情や課題を抽出して対策を検討する作業部会を立ち上げ、早期策定に向け取り組んでいく。

**音楽堂の建設について**

**問** 本年度の先進地視察について、どのような視察先を検討しているのか。

また、平成26年12月定例会市政一般質問での「音楽堂整備検討委員会を平成26年度中に設置する」との答弁から2年目になるが見解は。

**答** 「音楽都市こおりやま」の今後のあり方をハード・ソフト両面から検討する必要があることから、音楽振興策全般において評価の高い都市の取組みを調査していく。

「音楽堂整備検討委員会」

については、視察結果に加え、既存施設の利用状況や市民ニーズ、民間施設の整備状況等の把握・情報分析とともに、公有資産及び公共施設の有効活用や連携中枢都市圏での施設活用の可能性も含め、総合的に検討していく。

**死亡事故現場の改善について**

**問** 本年4月27日に緑ヶ丘地域で発生した交通死亡事故現場について、当面の対応と改善、類似箇所の点検などに向けた取組みは。

**答** 4月29日に事故現場を確認して再発防止対策を指示し、5月2日には、郡山警察署や地元町内会、学校、交通安全協会、道路管理者による現場点検を行い、対策会議を実施したところである。

事故現場の改善については、交差点の見通しに支障となる生垣の剪定を周辺住民にお願いしたところであり、応急対策として飛び出し防止のバリ

**予防接種の日曜日実施について**

**問** 平日働いている方のため、日曜日の予防接種を月に1回でも追加できないか。

**答** 定期予防接種の委託機関である郡山医師会との協議に基づき、副反応の発生に対応する救急体制が不十分であるなどの理由で休日の接種は行っていない。

しかし、日本医師会や厚生労働省が主催する3月の子ども予防接種週間において、通常の診療時間に予防接種を受けにくい人たちが、日曜日などにも予防接種を受けられる

**バイオガスをエネルギーの導入について**

**問** 食物残渣を活用したバイオガスエネルギーの導入に向けた検討状況は。

**答** 「郡山市エネルギービジョン」に基づき、昨年度は、「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業（グリーンプラン・パートナーシップ事業）を活用し、バイオガス発電の実現可能性調査を実施した。

ケードを設置し、さらに安全対策として、注意喚起の路面標示、自転車飛び出し防止の安全柵を8月に設置する予定であり、類似箇所については、緑ヶ丘地域の10か所について、今後も警察との協議により、安全対策を進めていく。さらに、市内における自転車歩行者専用道路については、「郡山市交通対策協議会」等の意見を聴き、総合的な安全対策を図っていく。

**掲載以外の質問項目**  
○東日本大震災から  
○東部地域の諸課題について

その結果、バイオガス発電は、本市における新エネルギー施策として非常に有効な手段であるとの結果が得られた一方、分別方法等の課題等も明らかになったことから、これらを整理し、国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所や日本大学工学部のアドバイザーを受けながら、バイオガス発電の施設整備における技術と運営のあり方を研究していく。

**掲載以外の質問項目**  
○除染事業について  
○「郡山市公共施設等総合管理計画」について



創風会  
久野みつお議員  
通告時間:30分

郡山駅を中心にした東西の均衡ある発展について

問 「UR都市機構に調査業務委託し、郡山駅を中心にした東西の均衡ある発展を図るため、新たな土地利用など、駅東口周辺地域における開発可能性の調査・検討を進める」

と、昨年6月定例会で答弁されたが、その調査結果を受け、駅東口広場の未整備部分5千600平方メートルは、今後どう開発を進める検討に入ったのか。

答 郡山駅東口周辺地域の開発可能性を検討するため、今年度は、土地所有者やJR等の関係権利者から意見を伺い、更に、路線バス、高速バス等の運行や発着等の有効活用を含めた駅東口広場のあり方を研究していく。



郡山駅西口の昇降設備について

問 郡山駅東口に昇降設備が設置され、障がい者や高齢者などは大変助かるが、西口のエレベーター降り口は、約420メートル先、エスカレーターは約360メートル先である。

答 真のバリアフリーには、上りを整備したら下りの安全性も考えるのが正當と考えるが、西口への新たな昇降設備について、どう考えているのか。

答 郡山駅西口の新たな昇降設備の設置は、今後の自由通路の利用実態を注視しつつ、「郡山市バリアフリー基本構

想」の中で、郡山駅周辺地区を重点整備地区と設定していることから、郡山駅舎の管理者であるJR東日本と協議していく。

競争入札における総合評価方式の復活について

問 震災前は、価格のみならず、技術力やボランティア活動を評価した総合評価方式を試行していたが、その後、休止した流れがある。

答 今後、総合評価方式を復活する考えはあるのか、また、その時期はいつ頃か。

掲載以外の質問項目

- 福島大学農学系学部誘致について
- 児童相談所の設置について
- 歴史資料館の更新について



日本共産党郡山市議員  
たかはしよしはる 高橋善治議員  
通告時間:30分

国民健康保険税額の引き下げについて

問 繰越金、国民健康保険給付費支準備基金、予備費を勘案すると、財源は確保できると思われるため、国保税の世帯割りの引下げを求めるが見解は。

答 繰越金を歳入予算に見込むことにより、税率の据え置きが可能となったものであり、余剰財源はないと認識している。

また、国民健康保険給付費支準備基金及び予備費は、本算定時に予測し得ない緊急事態に対応するために設けているものであり、責任ある国民健康保険財政運営のために必要である。

核兵器廃絶に向けた取り組みについて

問 新たな啓発活動として、原爆展の開催はもとより、平和首長会議総会への市長等の

参加、青少年「平和と交流」支援事業への若手職員の派遣を提案するが見解は。

答 本市は、世界の7千63都市が加盟する平和首長会議及び国内の39自治体が加盟する「日本非核宣言自治体協議会」に本年4月に加入したことから、11月に開催される予定の平和首長会議国内加盟都市会議総会に出席予定であり、「青少年『平和と交流』支援事業」についても、希望する職員を推薦予定である。

今後平和首長会議等が実施する各種事業の活用について検討し、核兵器廃絶に向け

た啓発事業の推進に努めていく。

中小企業振興基本条例の策定について

問 業界団体等との意見交換の継続強化とともに、事業者の意見等を直接面談して感じ取り、本市の産業振興策に活かすべきと思うが見解は。

また、その積み重ねの中で中小企業及び零細企業振興基本条例を策定していくべきと思うが見解は。

答 各団体の要望等を新年度予算編成前に聴くとともに、「郡山市商工振興連絡協議会」で情報交換を行いながら、中

小企業振興施策の推進を図っている。

また、関係団体の総会等へ可能な限り市長が出席して意見交換を行い、中小企業振興施策への反映に努めている。

中小企業及び零細企業振興基本条例の策定については、要望に基づき調査研究を行なってきたが、さらに関係団体と協議を行いながら本市にふさわしい条例の制定を視野に入れて検討していく。

掲載以外の質問項目

- 原発ゼロにたえるまちづくりについて



新政会  
あきらはら 晃 議員  
通告時間:30分

消防団の消防自動車へのオートマチック車導入について

問 マニユアル車とオートマチック車の取得価格差、オートマチック車が、これまでほとんど導入されなかった要因、車両更新時の各地区隊への要望調査の有無は。

さらに、今後10年以内に何台の買い替えが予想されるのか、その際はオートマチック車を積極的に導入すべきと考えるが見解は。

答 オートマチック車は、取得価格が概ね15万円から20万円高く、また、製造メーカーが限られており、これまでの導入は軽自動車の小型動力ポンプ積載車2台となっている。車両更新については、本市の消防車両等整備計画に基づき、購入から20年以上経過した車両を随時更新しており、今後10年間でポンプ車36台、小型動力ポンプ積載車63台を

放課後児童クラブの備品の整備について

問 カーテンなどの必要な備品が不足しているクラブには早急に整備すべきでは。

答 昨年3月に国が策定した「放課後児童クラブ運営指針」に基づき、運営に必要な備品等を整備しているが、既存の余裕教室等を活用しているクラブについては、カーテンや

湖南公民館の建て替えについて

問 老朽化が目立つ、市指定避難所でもある湖南公民館の建て替えについての見解は。

答 湖南公民館は、昭和45年に建設後、46年経過し最も古いため、平成9年にはスロープや自動ドアなど、バリアフリー施設を整備し、平成11年には外壁改修や実習室改修、2階内装改修等、施設機能の充実と適正な維持管理に努めてきた。

今後、地域性や需要の変化を見据え、維持管理に必要な修繕を行うとともに、「郡山市公共施設等総合管理計画」の具現化に向けた、公民館施設を含む集会施設の個別計画策定の中で、湖南公民館のあり方についても検討していく。



社会民主党  
いづか ゆういち 議員  
通告時間:30分

西田町大田地区仮置場予定地からの搬出について

問 西田町大田地区の除去土壌等を保管する仮置場予定地からの搬出の実施時期は。

位と同様に、空間放射線量率の比較的高かった地域、小・中学校等の子どもが利用する施設及び積込場の周辺地区等、諸事情を総合的に勘案し選定を行った。

教職員の長時間勤務削減のための取組みについて

問 教職員の長時間勤務削減のため、教育委員会としての取組みは。

答 学校現場を取り巻く複雑化・多様化した課題に対応するため、専門スタッフの人的配置により、教職員の負担軽減を図ってきた。

郡山市奨学資金給与事業の拡充について

問 奨学資金給与事業の予算額を増額し、給与者数を増やすべきと考えるが見解は。

答 本市では高等学校等への進学の意味と能力を有しながら、経済的理由により修学困難と認められる者に対して、月額1万円の奨学資金を給与



掲載以外の質問項目  
○「高齢者の安全・安心」について



創風会  
佐藤 政喜 議員  
通告時間:30分

日本遺産認定後の観光振興を含めた取組みについて

問 本市の安積疏水、「未来を拓いた「一本の水路」」が文化・伝統を語るストーリーとして日本遺産の認定を受けたが、今後、本市の観光振興を含めた取組みをどう展開す



創風会  
遠藤 義裕 議員  
通告時間:30分

国道288号バイパスの延長及び格上げ等の状況について

問 内環状線の、県に移管された旧国道4号から国道288号バイパスまでの区間の格上げ又は、内環状線の国道288号への延長及びその格上げ等についての状況は。

るのか。

答 構成文化財関係団体等で構成する「日本遺産プロモーション協議会」を中心に、文化庁「日本遺産魅力発信推進事業」の4つの柱、情報発信・人材育成や普及啓発、施設整備、調査研究を推進し、具体的な取組みを通して郡山ブランドの確立を図る。

さらに、本市の地域資源を活かしたストーリー性のある広域観光ルートの創出に取り組み、観光振興に努める。

「(仮称)プレミアムあさか舞」について

問 本年は市内21か所に良食

味実証圃を設置し、食味値等のデータ収集、販売戦略策定まで取り組むとしているが、「(仮称)プレミアムあさか舞」の基本構想をどう考えているのか。

答 JA福島さくら等と構成する「郡山市米消費拡大推進協議会」で、(仮称)プレミアムあさか舞の生産に向けた協議をしており、ブランドイングテーマ「どこよりも安全で美味しい最高級品の米とそ

園のうち、駐車場整備がされていない公園は何か所か。

特に麓山公園、21世紀記念公園、酒蓋公園、荒池西公園、五百淵公園の駐車可能台数は何台か。

また、公園都市づくりのためには新たな駐車場整備を進めるべきと考えるが見解は。

答 総合公園、特殊公園、地区公園、近隣公園33か所のうち、駐車場が整備されていない公園は14か所である。

また、麓山公園、酒蓋公園は駐車場がないが、21世紀記念公園、荒池西公園、五百淵公園にはそれぞれ6台分の駐

必要な情報の収集に努めるなど、生産販売戦略の構築に向けて協議を継続していく。

貧困対策等への各部署の有機的連携について

問 低所得者向け支援施策等については、保健福祉部の7課のほか、こども部等でも複数の課で実施しているが、低所得者向けの様々な施策の窓口一元化など、更なる有機的連携を検討すべきでは。

答 低所得者向け施策は、年度ごとに制度や内容の見直し等が行われるなど、窓口の一元化対応は難しい状況にあるため、現在、複数課での対応

車場を有している。

市内全域からの利用者が想定される総合公園等には駐車場を設け、徒歩圏内に居住する市民の利用を想定した公園には、原則駐車場の整備は考えていないが、要望があれば総合的に検討していく。

福原交差点の渋滞解消について

問 現在の交通量に加え、今後の除去土壌の輸送等復興道路としての利用増加を考えると、渋滞緩和のために福原交差点(内環状線と県道須賀川二本松線の交差点)の立体化

が必要となった場合、自立支援相談窓口の支援員が調整役となり、担当課へのつなぎや継続的な情報共有などの支援に努めている。

また、関係部局担当者からなる「郡山市生活困窮者自立支援庁内連絡会議」を設置し、支援方法などの検討や検証を定期的に行い、更なる有機的な連携に向け、相談業務の改善を進めている。

掲載以外の質問項目

- 食育について
- 2025年問題を見据えた地域づくりについて

が必要と考えるが見解は。

答 平成26年11月6日をはじめ、地元説明会等を県と合同により合計5回開催し、福原交差点の改良計画に関する説明を行ってきたが、新たな用地取得を伴う渋滞対策には、反対の声が多く寄せられており、現段階で多くの期間や家屋移転等を必要とする立体交差化は困難と考える。

掲載以外の質問項目

- 市政運営について
- 18歳選挙権について
- 郡山北部のまちづくりについて



社会民主党  
ひだ よしあき 議員  
飛田 義昭  
通告時間:30分

**屋内温水プールの使用について**

**問** 現在、整備が進められている屋内温水プールは、全国大会等を目指す市民が練習できる環境にあるのか。  
**答** この施設は、日本水泳連盟公認予定の50mプール、幼

児まで利用可能な可動床機能の25mプールを備える県内初の屋内温水プールであり、50mプールは水深2mで、国体や高校総体などの全国大会と同環境での練習が可能である。プールの利用については、

幼児から高齢者まで、更には初心者から上級者まで、幅広い利用が可能となり、市民の健康維持はもとより、水泳の競技力向上にも寄与する施設として運営していく。

**市体育協会への補助金について**

**問** 全国で活躍する本市の選手等への激励金が減額されない

よう、市体育協会に対し市の補助金を増額すべきでは。  
**答** 全国大会等へ出場する選手等への激励金は、市補助金と加盟61団体の負担金等を財源とする運営費の中からの交付であり、その実績は、競技力向上に伴い、対象人員が年々増加傾向にある。

競技力向上や指導者の育成、競技団体への支援など、市体育協会が本市のスポーツ振興に果たす役割は大きいと認識しているが、補助金については、他分野等への支援との整合性や、各種団体との役割分担のあり方を検証する必要も

あることから、総合的に検討していく。

**交差点等のカラー化について**

**問** 通学路等以外の交差点等における危険箇所カラー化についての見解は。

**答** 「郡山市通学路交通安全プログラム」に基づく整備については、平成25年度34件、平成26年度14件、平成27年度22件の整備を進め、現在15件が未了であり、本年度は10件整備し、残り5件は、来年度に予定している。

通学路以外の町内会等からの要望による整備については、

**掲載以外の質問項目**

○本市の被ばく防護対策について

警察と協議し、事故の履歴や危険性、設置効果等の視点で総合的に判断し、計画的な安全対策を実施しており、平成26年度4件、平成27年度18件の整備を進め、現在14件が未了であり、本年度は11件整備し、残り3件を、来年度に予定している。

今後も、市民が安全で安心して通行できるよう、適切な道路管理に努めていく。

**請願書・陳情書の提出**

請願・陳情は、市議会に対して、いつでも、どなたでも行うことができます。

**提出方法について**

請願書・陳情書は次の要領で提出してください。

- (1) 請願には、1人以上の市議会議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名、押印を受けてください。なお、陳情には、紹介議

員は必要ありません。

- (2) 一つの案件につき、一つの請願書（陳情書）が必要になります。

- (3) 請願書・陳情書は、A4判の用紙に横書きし、でき

る限り邦文（点字を含む）で提出してください。やむを得ず外国語を用いる場合は、訳文も同時に提出してください。

- (4) 文書の記載内容

◆提出年月日

◆請願者（陳情者）の住所（法人の場合には、その氏名（法人の場合には、その名称及び代表者名）を記載し、押印

◆請願（陳情）の件名

◆請願（陳情）の趣旨

◆請願（陳情）の事項

- (5) 提出部数は1部です。

なお、道路などに関するものは、現地の略図を添付してください。

**受付について**

請願・陳情は、議会開会中、閉会中を問わず常時受け付けています。

ただし、定例会中の審議を希望する請願の受付は、市政一般質問初日の午後5時までです。

これを過ぎると次の定例会での審議となります。

また、定例会中に議員へ陳情書の写しの配付を希望する場合の陳情の受付は、開会日翌日の午後5時までです。開会日翌日が土・日曜日及

び祝日の場合は、翌日以降の直近の開庁日になります。

**取扱について**

請願は、関係する委員会に付託され、審査し、その内容が妥当と認められるものは採択の上、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過及び結果の報告を求めます。

また、国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。陳情は、写し（陳情文書表）を各議員に配付します。

## 行政調査レポート

### 安全・安心なまちづくり特別委員会

愛媛県松山市の「自殺防止対策条例」及び「自殺対策基本計画」、愛知県名古屋市の「自殺対策の総合的な取組み、愛知県豊橋市の小・中学校における自殺対策等の取組み」について、平成28年6月1日から3日まで、行政調査を実施しました。

松山市では、議員提案条例として平成25年4月1日に施行された「松山市自殺対策基本条例」及び、同条例に基づき平成27年3月に策定された「松山市自殺対策基本計画」により、自殺対策の8つの方針のもと各種事業が進められていました。

事業推進に当たっては、行政・民間団体・有識者等で構成する「松山市自殺対策推進委員会」を設置し、計画の進捗管理及び評価を行うとともに、情報の共有化と連携強化を図っていました。

名古屋市中では、「自殺の予防」「自殺の防止」「自死遺族の支援」の各段階に応じた取組みが進められ、若者を対象とした自殺予防啓発イベント「スマイルデーなごや」の

開催や、相談窓口情報を集約した検索サイト「こころの絆創膏」の開設、関係機関との連携強化に向けた「自殺対策連絡協議会」の設置や相談実務者の情報共有の場となる「関係機関ネットワーク会議」の設置、自死遺族支援のためのカウンセリング事業等の取組みを進めていました。

豊橋市では、小・中学校の自殺対策に関する「予防活動」「危機対応」「事後対応」を定めた「子どもの自殺予防マニュアル」を作成し、児童・生徒の自殺予防等への取組みを進めていました。



名古屋市(自殺予防等への取組み)

### 特別委員会の活動状況

#### 安全・安心なまちづくり

3月25日、4月12日開催の委員会において、今後の協議

スケジュール等について協議し、自殺防止対策に関する先進自治体の取組み事例について、調査研究を行いました。

4月25日、5月10日、5月25日開催の委員会において、当局から次の項目について説明を受け、種々質疑を交わしました。

- 市民等の理解増進への取組み
- 人材確保等の取組み
- 心の健康保持に関する取組み
- 自殺発生回避の取組み
- 民間団体への支援及び連携等に関する取組み
- 市職員の「こころの健康づくり計画」及び計画に基づく取組み
- 学校教職員の健康管理
- 学校における自殺予防及びいじめ防止等の取組み
- セーフコミュニティに係る取組み
- 多重債務者の相談対応等の取組み
- 子育て家庭の相談対応等の取組み

#### 公有資産活用検討

#### 審議項目に関する当局説明

3月25日、4月12日、4月

25日開催の委員会において、当局から次の項目について説明を受け、種々質疑を交わしました。

- 法定外公共物の現状
- 豊田貯水池跡地の利用
- 行政財産・普通財産の現状
- 土地開発基金保有財産の現状

- 不要水道管敷地の利用
- 市営住宅の政策空家の利用
- 小学校統合最後の廃校利用
- 公有資産の最適化の現状
- 貸し施設の現状

#### 現地調査

4月12日開催の委員会において、豊田貯水池跡地及び周辺施設、旧郡山市立行健中学校分離校建設用地、売却予定の富久山町久保田地内の市営住宅跡地の現地調査を行い、公有資産の現状や立地条件等の利活用に向けた課題を確認しました。



現地調査(旧郡山市立行健中学校分離校建設用地)

5月10日開催の委員会では、小山市市営住宅、湖南町の5か所の廃校及び教職員住宅等の関連未利用施設について現地調査を行い、地域の利用実態や要望等、現状を確認しました。

6月14日開催の委員会では、統合が計画されている西田町の5つの小学校について現地調査を行い、現在の利用実態や統合後の利用に関する地域の意向等、現状を確認しました。



現地調査(郡山市立鬼生田小学校)

今後は、公有資産の有効活用について、先進事例の調査なども踏まえながら、審議を進めます。



〈御自由に参加できます〉

# 特別委員会講演会公開のお知らせ

現在、郡山市議会に設置しております特別委員会におきまして、より深い識見を得た上で議論を進めていくため全議員を対象に講演会を開催します。

開かれた議会を目指す本市議会の講演会ですので、市民の皆さんも聴講できます。

興味のある方はぜひ御参加ください。

## 安全・安心なまちづくり特別委員会

### 「自殺予防対策講演会」

誰も自殺に追い込まれることのない社会へ  
～地域のつながりが命を守る～

講師：NPO法人自殺対策支援センター  
ライフリンク

代表 しみず やすゆき 清水 康之氏

日時 平成28年8月26日(金)  
午後1時30分～午後3時20分  
会場 郡山市保健所4階「大ホール」  
(郡山市朝日二丁目15-1)

## 公有資産活用検討特別委員会

### 「公有資産活用検討特別委員会講演会」

(仮) 公有資産活用におけるPPPについて

講師：株式会社日本政策投資銀行  
地域企画部 公共班  
課長 えんどう たけし 遠藤 健氏

日時 平成28年8月19日(金)  
午後1時30分～午後3時20分  
会場 郡山市役所西庁舎6階「全員協議会室」  
(郡山市朝日一丁目23-7)

参加を希望される方は、事前申込みは不要ですので、当日、直接会場へお越しください。

### 〈お問い合わせ〉

郡山市議会事務局総務議事課

電話 024-924-2521 ファクシミリ 024-938-2810

メール [soumugiji@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:soumugiji@city.koriyama.fukushima.jp)

5月9日に、今村剛司議長、川前光徳こおりやま市議会だより編集委員会委員長、小林千恵子選挙管理委員会委員長、安積高等学校を訪れ、県高等学校校長会県南支部長である久保田範夫校長に3月定例会の内容等を掲載した市議会だより「第176号」を手渡しました。



こおりやま市議会だよりを手渡す今村議長(左から2人目)ら

「公職選挙法」の改正により、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、若い世代の方々の、政治やまちづくり、選挙に対する関心を高めるための啓発活動の一環として、「こおりやま市議会だより」を市内の各高等学校へ継続して配付する取組みを始めました。

市内各高等学校に「こおりやま市議会だより」を配付しています。

### 議員表彰

本年5月31日に開催された第92回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰されました。

### 議員25年以上表彰

橋本 幸一 議員

また、全国市議会議長会理事としての功績により、感謝状が贈呈されました。

高橋 隆夫 議長  
今村 剛司 議員

「こおりやま市議会だより」は、行政センター、公民館、図書館などの公共施設にあります。

また、視覚が不自由な方のために「こおりやま市議会だより」の点字版・音声版を発行しています。

## 平成27年度後期分(平成27年10月1日～平成28年3月31日) 政務活動費会派別収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動に必要な経費の一部として、「地方自治法」及び「郡山市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、会派(所属議員が1人の場合を含む。)に対し交付されています。

なお、経費は、「郡山市政務活動費の手引き」にしたがって支出され、すべての支出には領収書を添付した報告書の提出が義務付けられています。

収支報告書、現金出納簿や領収書等の写しは、市政情報センター(西庁舎1階)で縦覧できます。

【平成27年度後期分 政務活動費会派別収支報告一覧表】

(単位:円)

項 目	会 派 名	創風会 (19人)	新政会 (7人)	郡山市議会公明党 (4人)	社会民主党 (3人)	日本共産党郡山市議団 (3人)	虹とみどりの会 (1人)	無所属の会 (1人)
会派への交付額(A)		11,400,000	4,200,000	2,400,000	1,800,000	1,800,000	600,000	600,000
支 出 額(B)		10,062,833	3,217,499	2,308,371	1,662,023	1,317,046	573,206	558,327
支 出 内 訳	調査研究費	3,631,360	568,050	0	0	0	0	0
	研修費	326,656	829,244	248,350	126,210	0	22,324	0
	広報費	3,054,314	1,258,200	1,120,457	1,422,144	1,144,476	450,000	484,542
	広聴費	0	0	0	0	8,644	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	266,045	21,674	24,254	1,907	5,112	672	0
	資料購入費	623,387	215,920	337,669	75,897	115,878	77,660	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	1,833,031	146,608	437,204	495	42,936	22,550	73,785
通信運搬・自動車燃料費	328,040	177,803	140,437	35,370	0	0	0	
差し引き額(A-B)【市への返還額】		1,337,167	982,501	91,629	137,977	482,954	26,794	41,673
会派執行率(%)		88.27	76.61	96.18	92.33	73.17	95.53	93.05

・所属議員1人当たり月100,000円を交付。

・平成27年度前期分の政務活動費会派別収支報告一覧は、市議会ウェブページから御覧になれます。

### 議会の傍聴

議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。  
議会はどなたでも傍聴することができますので、お気軽にお越しください。

#### 本会議を 傍聴するには

・会議の開始30分前から、西庁舎7階の傍聴受付で先着順に受け付けます。  
(通常は午前10時開会)

・定員は74人です。  
・車いすの方、難聴の方の席があります(補聴支援システムがあります)。  
・団体で傍聴される場合は、住所、氏名を記載した名簿をお持ちください。

#### 委員会を 傍聴するには

・会議の開始40分前から20分前まで、西庁舎6階の議会事務局で受け付けます。

(通常は午前10時開会)  
・各委員会の定員は15人です。  
・傍聴希望者が定員を超えた場合、受付終了後に抽選を行い、傍聴者を決定します。

#### 傍聴の際 御注意いただきたいこと

受付時にお渡しする傍聴券の裏面に「傍聴人心得」が記載されていますので、その記載事項を守って傍聴してください。

なお、次のことについては、特に御注意ください。  
・携帯電話やスマートフォンは、電源を切るか、マナーモードにして通話等は御遠慮ください。  
・会議の妨げとならないよう静かに傍聴してください。  
・写真撮影や録音はできません。



# 市議会ウェブページ

郡山市議会では議会をより身近なものとしていただくため、郡山市ウェブサイト内に市議会のページを開設しており、本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧になれます。

詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか「郡山市議会」で検索して御覧ください。

## 郡山市ウェブサイトアドレス

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

郡山市議会	検索
-------	----



市議会ウェブページ  
QRコード



## 市議会ウェブページの主な掲載内容

- 市議会の主な日程
- 議決結果・各議員の賛否・意見書等
- 請願・陳情
- 市議会中継・会議録
- 政務活動費の収支報告等
- その他（特別委員会の活動経過、議会の傍聴、議員名簿、こおりやま市議会だより等）

市議会中継が、スマートフォン・タブレット型パソコンでも御覧いただけるようになりました。



市議会では、現在本会議の様態などをインターネットにより動画配信しています。

このQRコードから市議会中継にアクセスできます。



市議会中継QRコード

## 市政一般質問（4頁～13頁）に各質問者のQRコードを掲載しました。

QRコードについて  
QRコードの有効活用について  
対象の質問者の動画にアクセスでき、今回のものほか、過去の録画も簡単に見られます。



郡山市イメージキャラクター  
**がくとくん**  
通告時間:30分

各質問者の顔写真の下にQRコードを掲載しました。  
このQRコードをスマートフォン・タブレット型パソコンで読み取ると、それぞれの質問者の動画に簡単にアクセスすることができ、録画中継が御覧いただけます。



# 9月定例会開催予定

9月定例会は、9月1日から開催の予定です。  
 なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

9月 1日〔木〕 <b>開会</b>	9月 16日〔金〕 休会
2日〔金〕 議案調査(休会) ※陳情締切	17日〔土〕 休会
3日〔土〕 休会	18日〔日〕 休会
4日〔日〕 休会	19日〔月〕 休会
5日〔月〕 議案調査(休会)	20日〔火〕 <b>本会議(補正予算等先議)</b>
6日〔火〕 <b>市政一般質問</b> ※請願締切	21日〔水〕 決算議案書熟読日(休会)
7日〔水〕 <b>市政一般質問</b>	22日〔木〕 休会
8日〔木〕 <b>市政一般質問</b>	23日〔金〕 決算議案書熟読日(休会)
9日〔金〕 <b>市政一般質問・決算特別委員会設置</b>	24日〔土〕 休会
10日〔土〕 休会	25日〔日〕 休会
11日〔日〕 休会	26日〔月〕 決算議案書熟読日(休会)
12日〔月〕 常任委員会	27日〔火〕 決算特別委員会
13日〔火〕 常任委員会	28日〔水〕 決算特別委員会
14日〔水〕 事務整理日(休会)	29日〔木〕 決算特別委員会
15日〔木〕 休会	30日〔金〕 決算特別委員会・ <b>閉会</b>

- ・開会日、市政一般質問日、本会議(補正予算等先議)、閉会日の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ(月曜日を除く)でも御覧になれます。
- ・録画中継は、生中継の4日後(土・日曜日及び祝日を除く)から御覧いただけます。

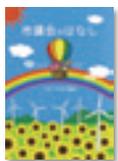


市議会中継QRコード

**お知らせ** 特別委員会講演会を公開いたします。詳しくは15頁を御覧ください。

## 「市議会のはなし」

市議会のしくみを分かりやすくまとめた「市議会のはなし」を発行しています。



子ども用リーフレット



一般用リーフレット

## 会議録を御覧になる方へ

本会議の会議録は、郡山市ウェブサイト、または次の施設で御覧になれます。

- 市政情報センター(市役所西庁舎1階)
- 希望ヶ丘図書館
- 安積図書館
- 富久山図書館

なお、平成28年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、8月下旬になります。



会議録検索システムQRコード

## 編集後記

中核市議会議長会主催の第11回議会報コンクールが開催され、本市も含め44市が参加しましたが、出品した「こおりやま市議会だより第174号(平成27年9月定例会号)」は、残念ながら入賞に届きませんでした。

審査員からは、「全体の色づかいが巧み」「一般質問コーナーが充実」「議員の顔写真に質問の場面を使うなど、本番の質疑を思わせる」と高評価の一方、表紙写真の使い方などには厳しい指摘もいただきました。

今後はそれらを踏まえ、市民の皆様に分かりやすい「こおりやま市議会だより」となるよう編集して参ります。(佐藤(栄))